

鎌

稲、草、柴などを刈ったり
灌木を切り倒すのに用いられる道具です。
種類は多く、
薄鎌、中厚鎌、厚鎌、造林鎌等があり、
それぞれに両刃と片刃があります。



北村 清次 作(天保年間)
坂本富士馬 作(明治初期)

沿革

土佐打刃物の中でも最も古い歴史を持っているのが鎌です。土佐鎌の源流は、天正の時代までさかのぼることができ、野口孫七郎が祖とされています。野口派は野鍛冶から鎌鍛冶に専門家していったといわれ、剃刀鍛冶から発展していった播州鎌が片刃であるのにたいして、土佐鎌は両刃鎌であることからみても、土佐鎌は刀剣鍛冶を源流にしていたように思われます。